



東藤島こうみんがんだより

●人口 3,524人(男1,721 女1,803) ●世帯数 1,325戸(令和6年6月1日)
令和6年7月10日 福井市藤島町48-1-1 東藤島公民館 TEL54-0039 hfujik@mx1.fctv.ne.jp

学級通信「四季折々楽」

「大きな地震で停電や断水になったら ～能登半島地震の教訓～」

6月9日(日)に、福井市防災士会事務局長のマイク・ヨコハマ氏を講師に防災研修会を開催しました。公民館の四季折々楽(防災講座)と東藤島地区自治会連合会および自主防災組織連絡協議会との共催で、自治会長や防災担当者をはじめ約70名が参加し、当地区での防災の在り方について学びました。

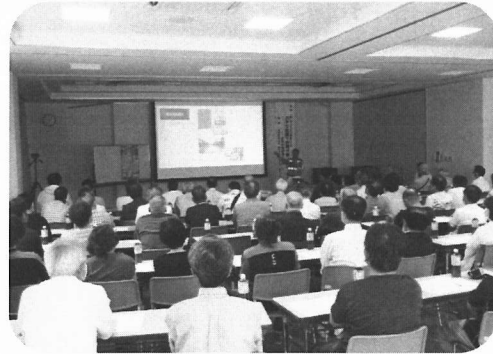
事前に実施した「震災を想定した不安アンケート」結果や能登半島地震での課題をもとに、東藤島地区の特徴を踏まえた心構えについてご助言をいただきました。特に、指定避難所である東藤島小学校までが遠い地区が多いことから、まずは「各自治会の集会場を第一次避難場所とすることが必要ではないか」、「平日頃から被災時の対応についてシュミレーションしておくことの必要性」を指摘されました。

マイク・ヨコハマ氏は常に地震を想定し、次のような準備をしているそうです。

- ・スニーカーを各自枕元に置いている。
- ・カセットコンロ、石油ストーブ、水(一人一日3L必要)、缶詰、トイレトペーパーは常に備蓄
- ・ペットの避難訓練の実施 など

特に、「災害時に家族がバラバラの場所にいた時や通信が遮断された時に集まる場所を決めている」ことも、これまでの災害から学んだ教訓として、必要なことであると思いました。

参加者から「一人暮らしなので夜中に地震が来たらどうしたらよいかわからない。」という不安に対し、ケガをしない部屋作りを工夫すること、隣近所との連携をとること、もしもの時の行動をシュミレーションしてみる、などのアドバイスをいただきました。また、バーベキュー会や植木交換会などでの顔の見える関係づくりや、半日車中泊体験などのヒントをいただきました。



防災とは、「災害を想定し自律的に行う生活改善活動である。楽しく意識せずに日常生活に溶け込ます」と話されました。家庭や自治会での防災の在り方について、振り返る良い機会となりました。

東藤島地区では、平成4年に大和田、追分、泉田に防災組織が作られたのを皮切りに、平成19年までに全自治会で防災組織が作られました。各自治会では、自治会長や防災担当者を中心に防災のあり方について、訓練を含めて組織の充実を図っていただければと思います。

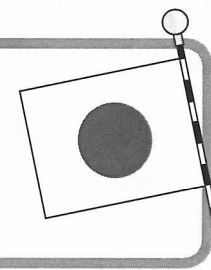
参加者の感想

- ☆災害を想定し、自律的に行う生活改善活動が必要だと強く感じた。自治会内でも話しかけていきたい。
- ☆本やテレビで少しは知識があるが、やはり対面で実際に実行している人から聞くことで、行動を起こそうという気になった。やはり「まさか」でなく「必ず」の気持ちで備えなければいけないと思うようになった。一人暮らしなので、まずは自助を固めその上で共助を受けるべきだ。
- ☆防災の問題の解決にはほど遠いが、やはり近くの人とのコミュニケーションと思いやりが一番!と痛感した。
- ☆毎年防災訓練を行っているが、高齢者・障がい者は参加していないのが現状。本格的に真剣に訓練する必要があると思う。サイレンと共に集まるだけでは訓練ではない。
- ☆防災を身近な事として日々を過ごしていく事を改めて教えていただきました。地区住民の意見交換とアドバイスを話し合い、一緒に考えよう!の防災…。
- ☆実践的内容が多く、参考になりました。問題は全員の思いを高めることだと思います。

あいさつで 笑顔満載 元気な街に 東藤島小児童作品

祝日には忘れずに 国旗を掲げよう!

7月15日(月)海の日
8月11日(日)山の日



公民館休館日

7月15日(月)・16日(火)・21日(日)
22日(月)・29日(月)
8月5日(月)

スポーツ協会コーナー

5月26日(日)に東藤島小学校グラウンドにおいて第63回東藤島区民体育祭が開催されました。多数の皆様参加により大変に盛り上がった体育祭となりました。ご協賛いただきました方々や運営にご協力いただきました方々に厚くお礼申し上げます。

第63回東藤島区民体育祭結果

第1部

【優勝】北野上町 【準優勝】原目町 【第三位】追分

第2部

【優勝】藤島町 【準優勝】上中町 【第三位】若栄町

第3部

【優勝】堂島町 【準優勝】間山町 【第三位】林町

総合リレー

【優勝】追分 【準優勝】上中町 【第三位】若栄町

壮年連絡協議会賞「我ら三世代力を合わせて」

【優勝】原目町 【準優勝】重立町 【第三位】林町

入賞おめでとうございます。

皆さんお疲れ様でした。

力を合わせて頑張りました



自主防災組織連絡協議会会長が決まりました

東藤島地区自主防災組織連絡協議会で平成26年から事務局長、29年から会長として、地区の防災のためにご尽力いただいた滝波博剛さんが、3月16日に永眠されました。ご冥福をお祈りいたします。

そのため、6月4日に臨時総会が開催され、新会長に元自治会連合会長の吉田年行さん(藤島町)が就任されました。役員は次の皆さんです。(敬称略)

会 長	／ 吉田	年行(藤島)
副 会 長	／ 渡辺	正彦(中ノ郷)
副 会 長	／ 高原	信江(原目)
副 会 長	／ 村上	義浩(堂島)
副 会 長	／ 安野	学(上中)
会 長 補 佐	／ 太田	恵三(大和田)
事 務 局 長	／ 増田	浩幸(上中)
事 務 局 次 長	／ 油谷	宏行(島橋)

重点目標 あいさつ・国旗掲揚・環境美化



くらしの提言

駐在所だより

☆投資詐欺に注意!

SNSや投資広告を通じて投資話を持ちかけられ、高額な金銭をだまし取られる投資詐欺にご注意ください。

投資詐欺の被害は後を絶たず、本年5月末、推定被害総額は約5億5,200万円とされています。

この詐欺の主な例として、SNS・投資広告からLINE等のメッセージアプリに誘い、「必ず儲かる。一緒にやろう。」などの誘い文句で、お金をだまし取ろうとします。

「必ず儲かる投資は存在しません！」

こんな詐欺に騙されないためのポイントは、「SNS等で知り合った人から、投資目的でメッセージアプリに誘われたら詐欺を疑う」です。

この他にも不安、不審に思うことがあれば、お気軽にご相談ください。

防犯パトロール

7月20日(土)午後7時～午後9時

福井警察署 ☎52-0110

戦没者慰霊祭を開催します

東藤島地区では、例年終戦記念日に先立ち、奉賛会(自治会連合会)による戦没者慰霊祭を実施しています。

今年は8月11日(山の日)に藤島町自治会館で開催します。住職様に読経をいただき、廻り焼香でお参りいただきます。

当日は午後3時まで祭壇を設置しておりますので、お参りください。

移動図書館



「あじさい号」巡回日

8月7日(水) 11:00～11:20

老人会主催 「ペタンク大会」開催

6月1日(土)東藤島小学校のグラウンドを会場に、老人連合会主催の第33回ペタンク大会が開催されました。10町内、17チームが参加してゲームを楽しみました。結果は、次の通りです。

なお、北野下Aチームは、7月11日(木)福井市老連主催の大会に出場します。

【優勝】北野下Aチーム

【準優勝】北野上Bチーム

【第3位】北野上Aチーム

【第4位】北野下Bチーム

ホタル観賞会を実施しました

6月22日、ホタル鑑賞会を実施しました。暗くなるまで、公民館でホタルやカエルの勉強をしてからビオトープへ移動しました。小雨が降る中でしたが、ヘイケボタルを十数匹観察することができました。



夏の福井市を 美しくする運動

7月7日(日)～14日(日)

例年行われています、福井市の年間行事の一つ「夏の福井市を美しくする運動」を今年は7月7日から14日に実施することになりました。

自治会毎に実施日を決めて清掃活動を行います。町内ぐるみで「清潔で美しいまちづくり」にご協力ください。



福井市東消防署

東分署からのお知らせ

水災害への 備えはできていますか?

近年、全国的に水害が多発しており、甚大な被害も発生しています。東藤島地区は、幸いにも水害の少ない地域ですが、いざという時のために万全な備えをしておきましょう。



●あらかじめハザードマップ(被害予想地図)を確認し、洪水等の災害が起こりやすい箇所を確認する

●避難用に非常持出袋を準備する

●天気予報で大雨情報・集中豪雨の情報収集

●洪水・浸水・冠水情報をリアルタイムにチェック

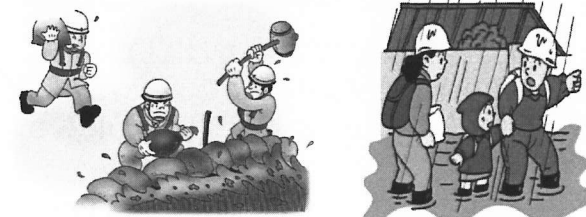
●屋外避難が難しい時は建物の2階以上へ避難する

●川、用水、溜池、田んぼに近づかない

●マイタイムライン*の作成→「いつ」「誰が」「何をやるのか」整理することで、自分に合った避難に必要な情報・判断・行動を把握し、「自分の逃げ方」を事前に確認しましょう。

*マイタイムライン…台風や豪雨などの水害に備え、一人ひとりの家族構成や生活環境に合わせてあらかじめ時系列で作成する避難行動計画のことです。

自分の身を守る行動いいね!



【お問い合わせ】
福井市東消防署東分署
福井市大和田1丁目102番

☎57-0119

火災、救急は「119番」へ
正しい「119」番通報をお願いします。



子どもたちに残したい 美しい日本の歌



四季の歌

荒木とよひさ 作詞・作曲

- 1 春を愛する人は 心清き人
すみれの花のような ぼくの友だち
- 2 夏を愛する人は 心強き人
岩をくだく波のような ぼくの父親
- 3 秋を愛する人は 心深き人
愛を語るハイネのような ぼくの恋人
- 4 冬を愛する人は 心広き人
根雪をとかず大地のような ぼくの母親

のちにフォーク歌手から作詞家に転身する荒木とよひさ(昭和18～)がまだ学生であった昭和39年のことです。スキーで足を骨折し、入院して退屈しのぎに創ったこの歌を女性看護師たちにプレゼントした、というエピソードが伝えられています。初めのころは看護師さんたちの間で歌いひろめられていったようです。昭和47年には荒木の作家デビュー作として、いぬいゆみがレコードを吹き込みます。しかし、あまりヒットしません。ところが、昭和51年になってニッポン放送の「あおぞらワイド」の番組中に視聴者からリクエストがあり、これがきっかけで世の注目を集めます。この年、各社から競作の形でレコードが発売されました。なかでも芹洋子のレコードが大ヒットしました。ほかにも倍賞千恵子のレコードも知られています。歌声喫茶でも、盛んに歌われました。

曲の最後に「ラン、ララララ、ランランラン…」とワンコーラス付け加えて歌うのが普通のようなです。中国語では「四季之歌[スリーチーゲー]」または「四季歌」というタイトルで李谷一などがカバーしています。

参考資料:「親子で歌いつごう日本の歌百選」文化庁編